



2026年7月23日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
16,273万kW
13時30分、162,732 MW
(10エリア同時刻合計)

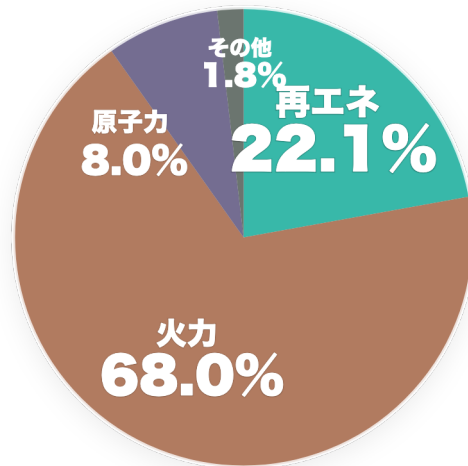
☀ 太陽光ピーク
5,188万kW
11時30分、51,884 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
66万kW
0時、655 MW

◇ 再エネ最大需要比
40.2%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
119 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
96.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 44.9%
40.8 GWh

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

93.6 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:00に5,640万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで44.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	22.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	711 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	3,208 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	40.2%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	93.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	44.9%	40.8	0.0	送電 8.1
東北	27.2%	93.1	0.0	送電 96.6
東京	15.9%	156	0.0	受電 119
中部	24.9%	121	0.0	受電 9.3
北陸	29.3%	28.7	0.0	送電 5.6
関西	17.0%	81.2	0.0	受電 77.3
中国	27.9%	58.3	0.0	受電 0.8
四国	23.2%	31.2	0.0	送電 39.1
九州	27.1%	97.2	0.0	送電 37.7
沖縄	10.8%	3.5	0.0	—



2026年7月23日の供給実績

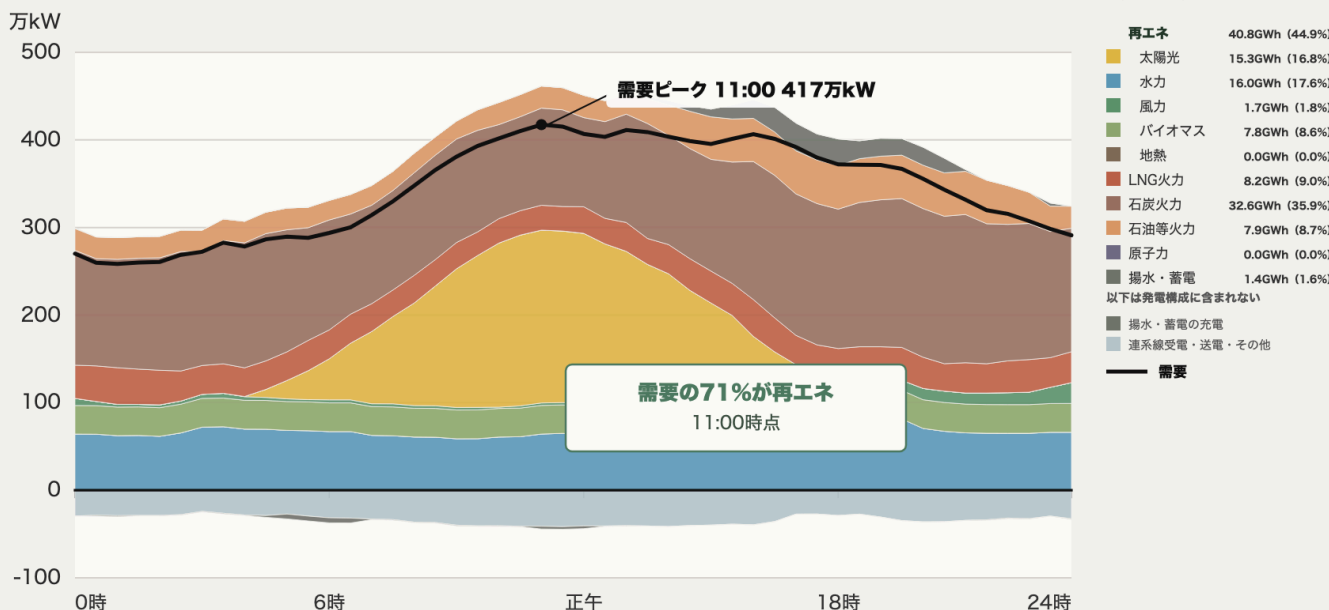
北海道エリア

再エネ

40.8GWh

(発電電力量ベース44.9%)

北海道エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

90.9GWh

需要ピーク

11:00、417万kW

連系線・その他

8.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク197万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.1%だった。



2026年7月23日の供給実績

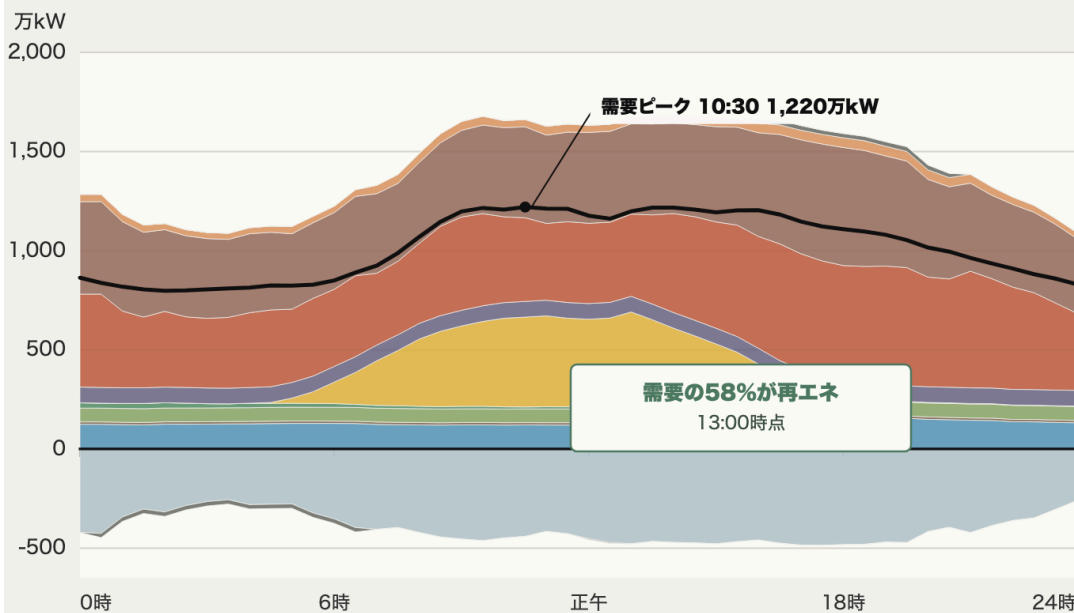
東北エリア

再エネ

93.1GWh

(発電電力量ベース27.2%)

東北エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 343GWh
(3,425万kW)

再エネ	93.1GWh (27.2%)
太陽光	38.8GWh (11.3%)
水力	31.9GWh (9.3%)
風力	2.8GWh (0.8%)
バイオマス	16.7GWh (4.9%)
地熱	2.8GWh (0.8%)
LNG火力	111.0GWh (32.4%)
石炭火力	108.7GWh (31.7%)
石油等火力	9.7GWh (2.8%)
原子力	19.0GWh (5.5%)
揚水・蓄電	1.1GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

342.5GWh

需要ピーク

10:30、1,220万kW

連系線・その他

96.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク467万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.6%だった。



2026年7月23日の供給実績

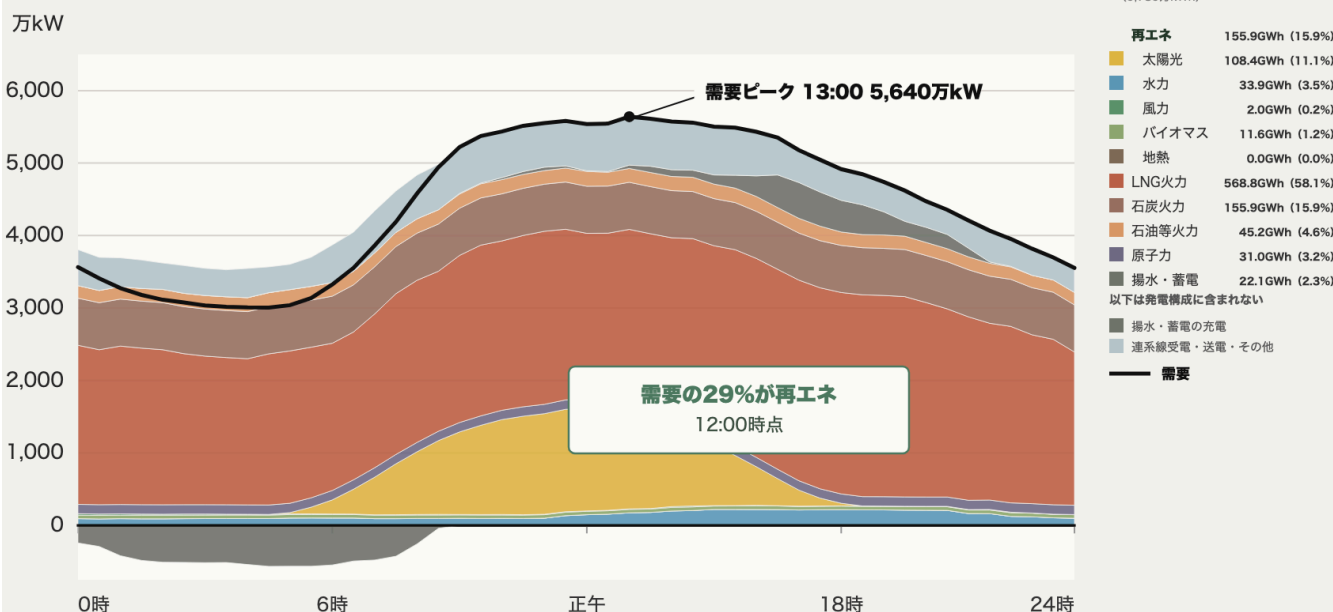
東京エリア

再エネ

155.9GWh

(発電電力量ベース15.9%)

東京エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

978.9GWh

需要ピーク

13:00、5,640万kW

連系線・その他

119.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

39.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,413万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.1%だった。



2026年7月23日の供給実績

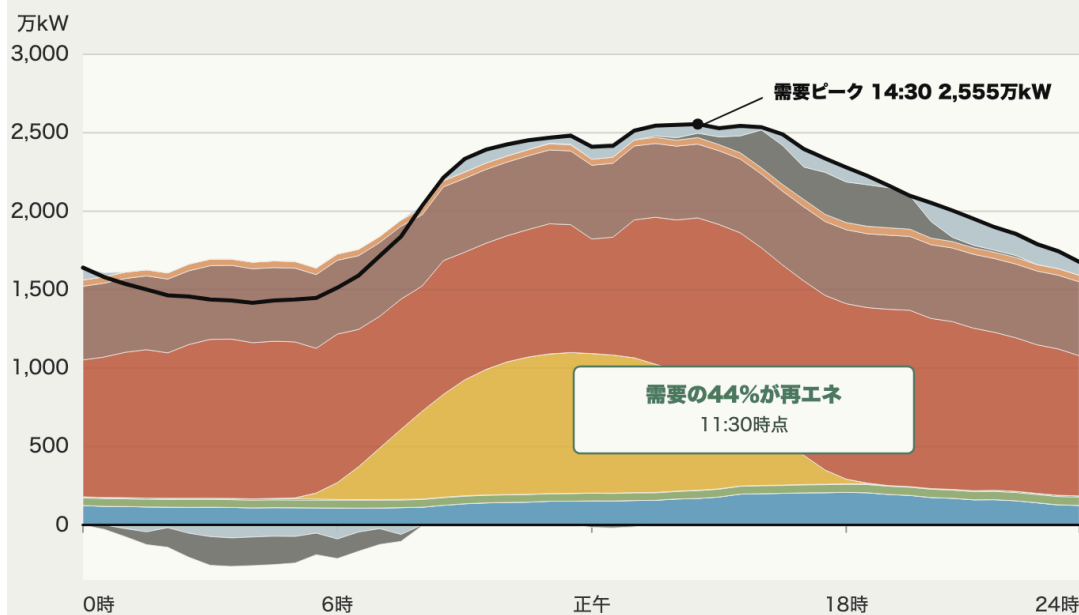
中部エリア

再エネ

120.8GWh

(発電電力量ベース24.9%)

中部エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 484.3GWh
(4,843万kWh)

再エネ	120.8GWh (24.9%)
太陽光	72.4GWh (15.0%)
水力	35.2GWh (7.3%)
風力	1.1GWh (0.2%)
バイオマス	12.0GWh (2.5%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	229.1GWh (47.3%)
石炭火力	112.8GWh (23.3%)
石油等火力	9.9GWh (2.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	11.8GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

484.3GWh

需要ピーク

14:30、2,555万kW

連系線・その他

13.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク898万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.3%だった。



2026年7月23日の供給実績

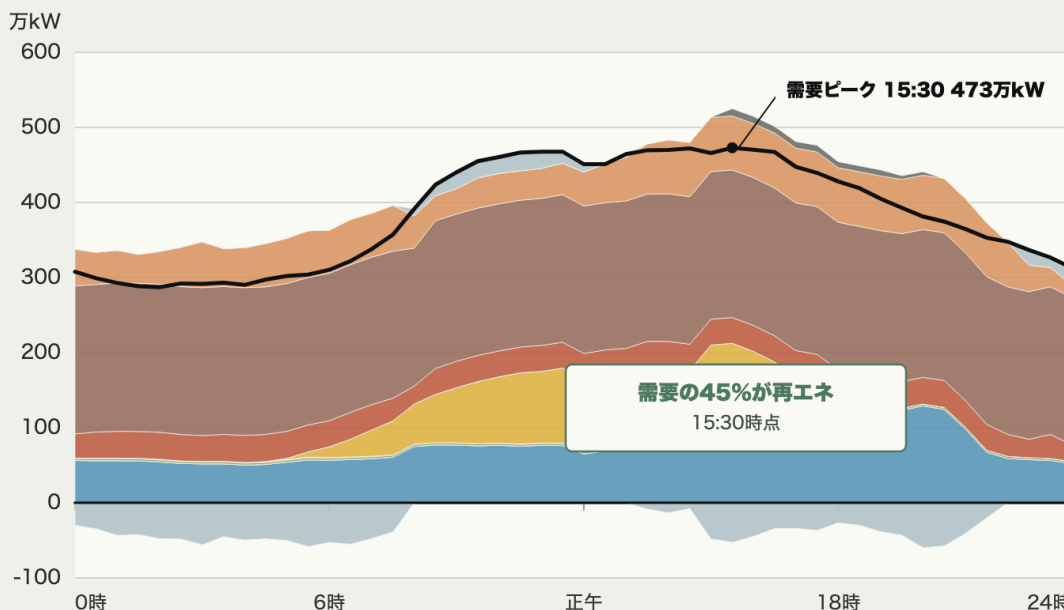
北陸エリア

再エネ

28.7GWh

(発電電力量ベース29.3%)

北陸エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 98GWh
(978万kW)

再エネ	28.7GWh (29.3%)
太陽光	8.0GWh (8.2%)
水力	19.9GWh (20.4%)
風力	0.1GWh (0.1%)
バイオマス	0.6GWh (0.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	8.1GWh (8.3%)
石炭火力	47.1GWh (48.2%)
石油等火力	13.4GWh (13.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.4GWh (0.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

需要

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

97.8GWh

需要ピーク

15:30、473万kW

連系線・その他

6.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク100万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.1%だった。



2026年7月23日の供給実績

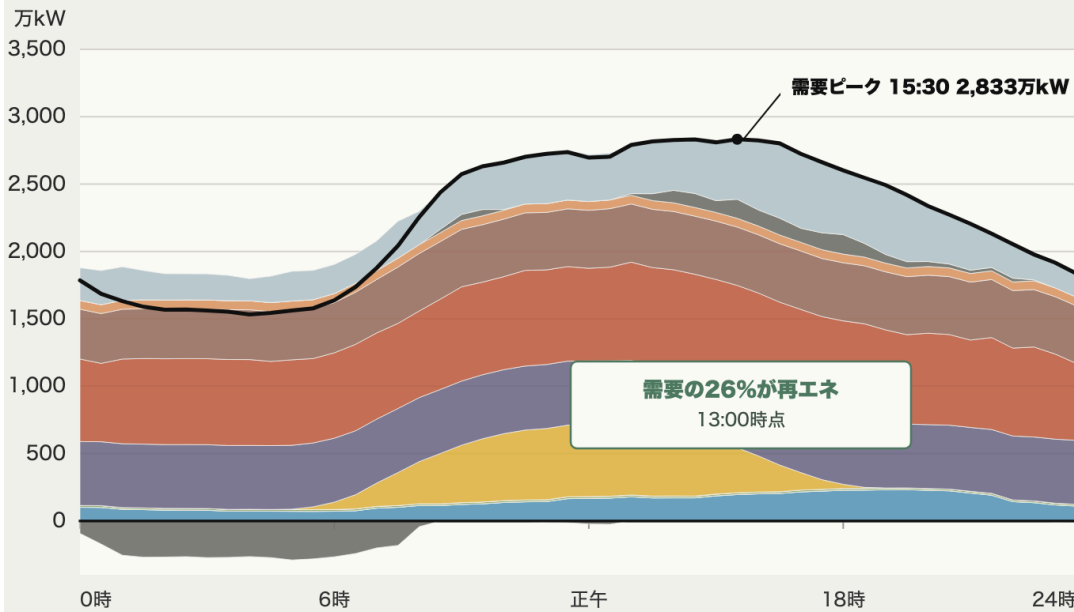
関西エリア

再エネ

81.2GWh

(発電電力量ベース17.0%)

関西エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

479.1GWh

需要ピーク

15:30、2,833万kW

連系線・その他

77.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

20.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク532万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.4%だった。



2026年7月23日の供給実績

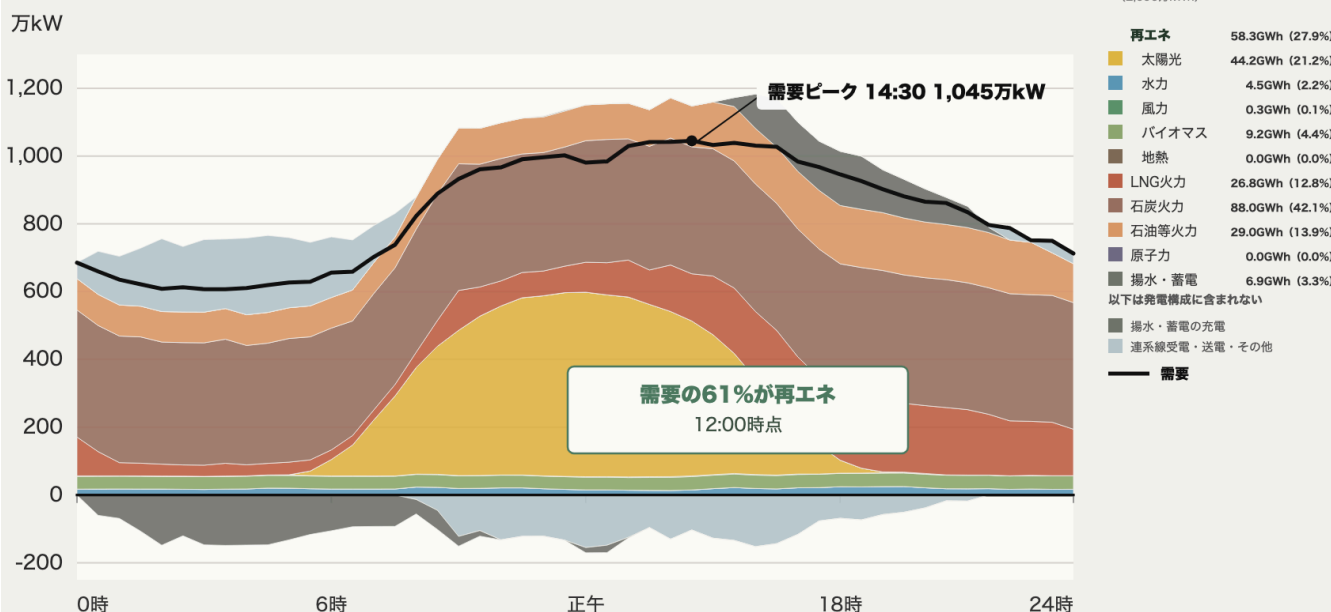
中国エリア

再エネ

58.3GWh

(発電電力量ベース27.9%)

中国エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

209.0GWh

需要ピーク

14:30、1,045万kW

連系線・その他

13.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク544万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.0%だった。



2026年7月23日の供給実績

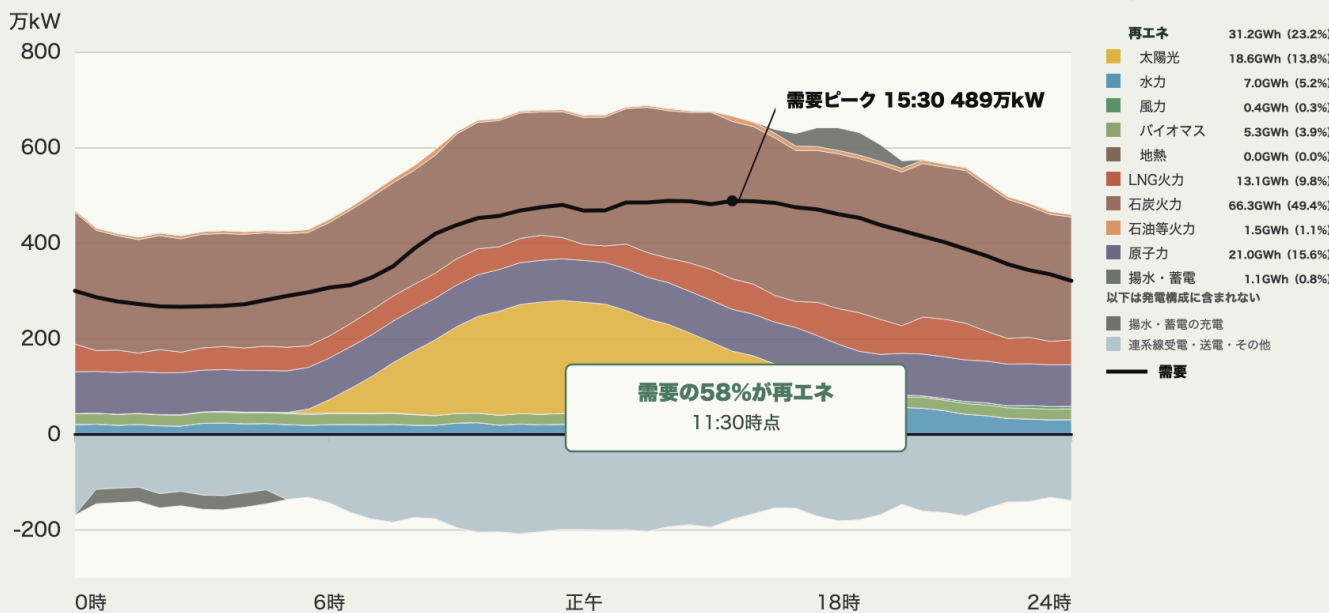
四国エリア

再エネ

31.2GWh

(発電電力量ベース23.2%)

四国エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

134.2GWh

需要ピーク

15:30、489万kW

連系線・その他

39.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク237万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.1%だった。



2026年7月23日の供給実績

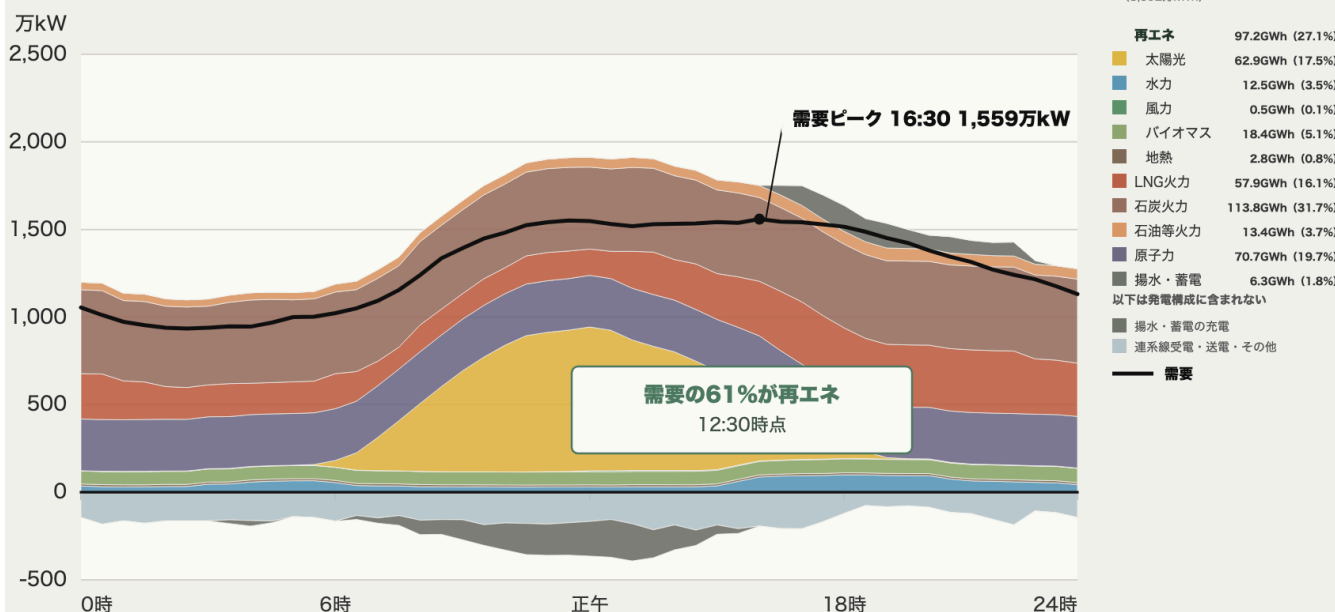
九州エリア

再エネ

97.2GWh

(発電電力量ベース27.1%)

九州エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

359.2GWh

需要ピーク

16:30、1,559万kW

連系線・その他

37.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

11.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク821万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.0%だった。



2026年7月23日の供給実績

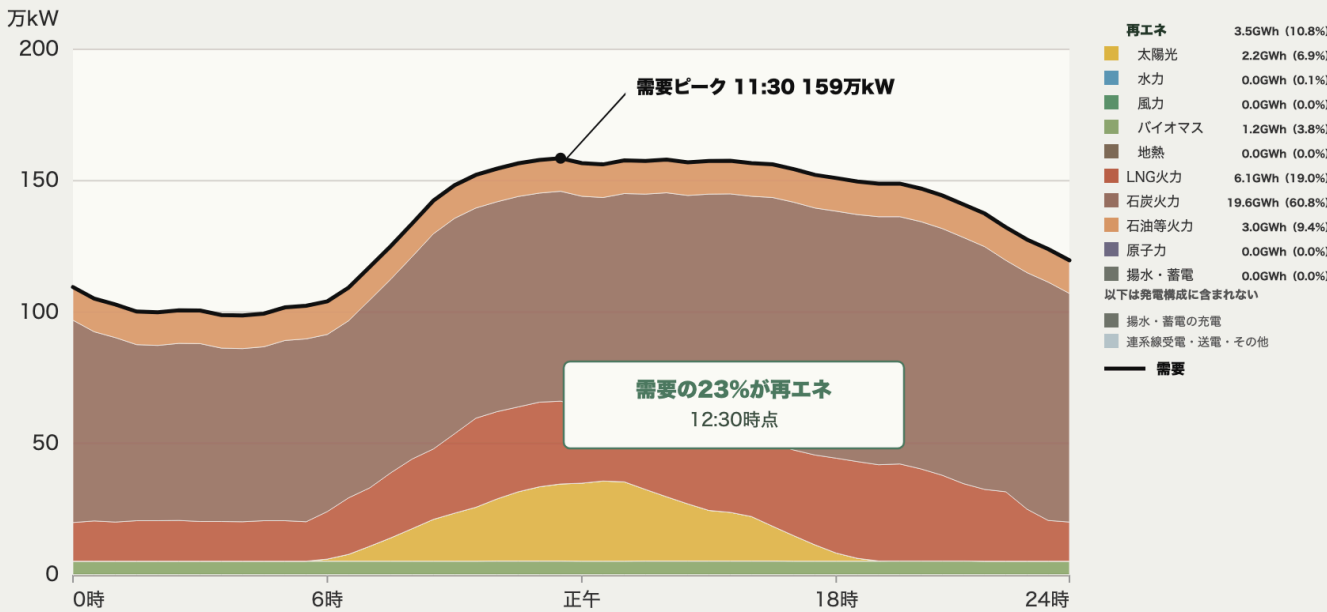
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース10.8%)

沖縄エリア 2026年7月23日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

32.1GWh

需要ピーク

11:30、159万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.9%だった。